

野呂榮太郎 おのろう 經濟學者。明治二十二年四月二十日北海道支張郡長沼村生れ、昭和九年一月十九日歿（九〇一三歳）。筆名榮太郎、蘆舟、野呂、野呂生、野呂蘆舟。大正十五年慶應義塾大學經濟學部卒業。産業労働調査所に入る。昭和六年緒保津南雄、榎田民藏等と資本主義論等々を展開。翌年『日本資本主義發達史講座』全七卷（昭和七年五月二十日—八年八月二十六日岩波書店）を企劃編輯。八年宮本顯治等と共に日本共産黨中央書記局を構成し、特高に逮捕せられ翌年品川警署署長に死亡。

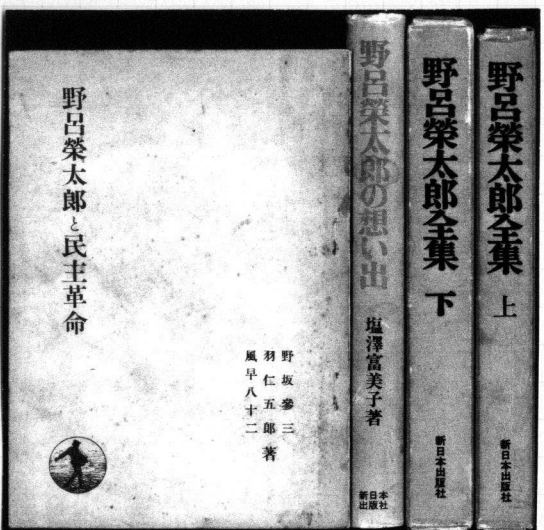
著書『日本資本主義發達史』（昭和十年六月五日岩波書店、再刊、一十九年六月二十五日「岩波文庫」）、『野呂榮太郎全集・第一卷』（野呂榮太郎全集刊行會編輯纂委員會編、昭和二十二年四月十日岩波書店）、『野呂榮太郎著作集』全二卷（第一集「日本資本主義發達史」昭和二十四年二月二十日、第二集「プロレ・帝國主義」論批判）二月五日、第二集「農業・戰略戰術問題」二月五日（二書房）、『野呂榮太郎全集』全二卷（野呂榮太郎全集刊行編纂委員會編、上・昭和四十年一月十五日、下・四月二十日新日本出版社）等。野坂參三・羽仁五郎・風早八十（二著）『野呂榮太郎と民主革命』（昭和二十一年九月十五日岩波書店）、塩澤富美子著『野呂榮太郎の想い出』（昭和五十一年四月二十日新日本出版



店）、塩澤富美子

子著『野呂榮太郎の想い出』

（昭和五十一年四月二十日新日本出版



版社)刊。